

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2	学年	2	類型	カレッジコース
教科書	新編古典探究			副教材	新編古典探究 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4	説話に親しむ	宇治拾遺物語 古文の読み方を確認する。(歴史的仮名遣い) 用言の文法を確認し、助動詞の働きについて考える。 "	◎		○	学習のねらい 1学期には「徒然草」や「竹取物語」等の平安時代の文学を読み味わいます。登場人物についてまとめたり時代背景について調べたりして、理解を深めていきます。2学期には、漢文の「史記」や諸子百家の思想について学んでいきます。漢文の返り点など基本的な文法事項を確認しながら読み進めます。古文では、百人一首に触れ、日本の伝統文化について学びます。3学期には、「平家物語」を読みます。軍記物語を読み味わい、登場人物の生き方について考えます。
		故事と小話	小話 話のおもしろさがどのような点にあるのか読み取り、話し合う。 "		◎	○	
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	○	◎		
	5	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	○	◎		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	◎		
	6	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	◎		
	7	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	○	◎		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "		○	◎	
2 学期	8	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	○	◎		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "		○	◎	
	9	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "		○	◎	
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
	10	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
	11	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
		随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○		
12	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○			
	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○			
	随筆を読む	徒然草 作者の物の見方や考え方について理解を深める。 "	◎	○			
3 学期	1	日記を読む	更級日記 日記と日記文学の違い、日記文学の流れを理解する。 作者の境遇を確かめながら、その心情を理解する。	◎	○		
		中国の知恵	寓話 人間や政治についての古代中国の様々な考え方を読み取る。 "	◎	○		
		中国の知恵	寓話 人間や政治についての古代中国の様々な考え方を読み取る。 "		◎	○	
	2	軍記物語を味わう	平家物語 表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。 "	◎	○		
		軍記物語を味わう	平家物語 表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。 "	○	◎		
		軍記物語を味わう	平家物語 表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。 "		○	◎	
3	軍記物語を味わう	平家物語 表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。 "	◎	○			
	軍記物語を味わう	平家物語 表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。 "	○	◎			
	軍記物語を味わう	平家物語 表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。 "		○	◎		

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【古典の目標】

- 古典は、長い年月を通して多くの人々の鑑賞に堪え、今もなお広く親しまれている作品です。古典の授業では、それらの作品を読むことによって、先人の優れたものの見方や考え方を学びます。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- ノートに本文を写し、古語辞典を用い口語訳していきます。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 口語訳を利用して本文の内容理解深めます。また、古典文法や有職故実についても、その都度おさえていきます。

【家庭学習】

- 古語辞典も使用して、予習・復習を心掛けましょう。
- 授業で取りきれなかったノートは、家できちんとまとめておきましょう。

【定期考査】

- 普段の授業を大切に、日ごろから勉強しておきましょう。

【その他】

- その他、中国文学なども図書館の本を利用して読んでいきたいと思えます。常日頃から読書を心掛けましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。	
評価の規準	1学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	2学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	3学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	学年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価